

# 白川郷荻町集落の自然環境を守る会 令和7年10月号

# ねそ

守る会ホームページ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi/>



## 白川郷・五箇山の合掌造り集落 世界遺産30周年記念事業 茅文化ワークvol.2 コガヤ（カリヤス）茅場の復元

7月に続き開催された「茅文化ワーク」。2回目となる今回は、座学の間を飛び出し、コガヤの茅場の復元に向けて、中刈りと呼ばれる手入れを実施。令和2年12月に日本の「伝統建築工匠の技」として「茅葺」と共にユネスコ世界無形文化遺産登録された「茅採取」。これは、茅刈りだけでなく、質の良い茅の栽培や、茅場の管理、もちろん今回の中刈りも含めて、合掌造りを守り繋ぐために大切な技術であることを実感する貴重な場となりました。

9月7日（日）午前、白川八幡神社に集まったのは、村民だけではありません。村と連携協定を結び、茅刈りイベント等にも度々参加してくださっているKDDI株式会社の方や、大学院の修士論文制作にあたり旧花植家を利用してくださっている名古屋工業大学の学生さん、その他にも村出身者の方や、前日に情報を入手した五箇山の顕彰会の方も急遽駆けつけてくださり、約40名ほどが集結。



色々な茅を比べてみる（ススキ・コガヤ・オギ）

ススキ、コガヤ、オギの違いを、実際に見て触って確認し、その後10分ほど険しい山道をのぼり今回の活動の場であるコガヤの茅場へ。普段私たちの生活に必要な道路は維持管理されていますが、茅場へと通じる林道は、生活道路に比べかなり荒れている印象でした。今後茅場を守ることは、林道の維持管理にも繋がるのではないかと思います。



茅場までの道のり（熊鈴を鳴らして）

茅場に到着したら、急斜面に生息するコガヤの風景に感動したのも束の間。コガヤを踏まないように細心の注意を払いながら雑木や雑草を取り除いていく作業は、思ったより神経を使う重労働でした。

初めて経験される方が多い中で、経験豊富な五箇山の方からのアドバイスはとても的確で、今後の茅場の復元に向けた活動に対しては、「このまま続けていけば茅場は再生できると思う」という嬉しいアドバイスも頂きました。



傾斜面での作業（声をかけて安全第一で）

生活や働き方も変わり、村の産業が農業から観光業へと移り変わった今、昔のように各家々で茅場を守ることは難しいという現実があります。今回、茅場の管理の大変さを体験したからこそ、今わたしたちに何ができるのか考えることが必要ではないかと感じました。裏面にて、今後の茅に関する取組みをご案内します。世界遺産登録30周年を機に、みなさんもこれからの茅文化について思いをめぐらせてみませんか？

## ◆今後の茅に関する取り組み【予定】

### 1、茅文化ワーク『コガヤ（カリヤス）の茅場の茅刈り作業』

日時：令和7年11月1日（土）

10:30白川八幡神社集合 ～ 12:30解散

### 2、オダレづくり

日時：令和7年11月9日（日）

8:45集合（集合場所未定）～ 13:30解散

※天候によって11月8日（土）に実施する場合があります。



オダレづくりの様子

お申込みは守る会事務局（尾崎）までお願いします。

## ◆キャッチフレーズは『“みんなの祭り”をキレイな荻町で！』

今年もどぶろく祭の季節となりました。昨年同様に、「キレイな荻町で楽しく祭りが開催できたら」という思いに加え、「キレイな荻町を未来につなげる気持ちを込めて」本年もゴミ袋の配布を行います。お散歩の時、祭の練習に向かう時、ふと道端のゴミを見つけたら、回収していただくとありがたいです。美化活動は日々の積み重ねであり、特別に行うことではありませんが、祭をきっかけとして、住民みなさんで心をひとつにして、共に気持ちよく祭を迎えられたらと思いますので、ご協力をお願いします。[企画部]

### ゴミ問題等に関する発展会からのお願い ～「きれいな白川郷」を守るために～

- ① 観光事業者は、ポイ捨てに繋がるゴミが生じないように努力しましょう。
- ② 店舗等周辺のゴミ拾いを積極的に行いましょう。
- ③ 観光客からゴミ処分の申し出があった際は、他店舗のゴミであっても“お互い様”の精神で快く引き取りましょう。
- ④ タバコのポイ捨てによる火災がないよう見かけたら注意しましょう。

### 守る会活動スローガン ～守る・暮らす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②暮らす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、他地域の交流から学び、未来の継承者を育成

### 9月の活動報告 ※11月の定例会は10日(月)を予定（公民館和室にて）

- |                                      |                  |
|--------------------------------------|------------------|
| 5日 旧寺口家管理運営委員会<br>（会長・事務局・教育委・財団・福田） | 10日 定例会          |
| 7日 茅ワークvol.2（コガヤ茅場の復元）               | 11日 ねそ9月号発行（総務部） |
|                                      | 随時 旧寺口家草刈り（福田）   |

### 10月の協議事項（現状変更申請に関わって） 10月9日開催

- \*\*\*\*\*屋根庇の改修 \*\*\*\*\*屋根融雪装置増設 \*\*\*\*\*ペンキ塗替え  
\*\*\*\*\*排水溝補修・土間補修 \*\*\*\*\*自動販売機設置 \*\*\*\*\*木の伐採

## ◆ねそ編集後記～旧寺口家管理運営委員会とガイド研修～

9月5日（金）夜、旧寺口家管理運営委員会が開催されました。旧寺口家では、コウモリに睡眠を妨げられたり、大雪で灯油（ボイラー）が入れられなくなったり、近年の夏の猛暑で網戸の必要性を感じ始めていたり、厳しい住環境ではありますが、地域のみなさまの励ましや手助けがありがたく、なんとか暮らしてきました。破損した雪囲い材も再利用し、排雪も業者へ発注せず節約を心がけていますが、昨シーズンの大雪で、棟おさえや雪囲い材も再利用が難しいくらいに破損してしまったものも多く、どのように修繕費用を捻出したらいいものか悩ましい日々です。話は変わりますが、世界遺産30周年記念事業の一環で、五箇山にて開催された観光ガイド研修に参加してきました。お客様を飽きさせないガイドの工夫や、五箇山の合掌造りや煙硝のことだけでなく、観光の在り方や住人の意識についても色々と考えさせられました。何かと忙しい村の日常ですが、○周年というものは何度もはやってこない節目です。「30周年くらい、30周年だから」というもっと楽な気持ちで、学びのきっかけに出会いにいてもいいのかなと思いました。[福田]